つながれ広がれNPOの輪

〈市民公益活動団体リレートーク⑯〉

点訳Ｅｙｅ（アイ）工房

「視覚に障がいを持つ皆さんに新鮮な情報を提供したい」と語るのは、点訳Ｅｙｅ工房の古藤博子会長。同工房は「市議会だより」をはじめとする情報紙や、小説などの文芸誌を点字にする「点訳」を行っています。また、どのような本があるかなどの情報提供や、小中学校での点字教室なども活動内容の一環です。

工房は、平成12年４月に設立。立ち上げたのは、旧水沢市社会福祉協議会が主催したパソコン点訳講習会の修了生25名でした。以後、点訳を中心に活動を続け、これまでに点訳した本は65タイトル、約２００冊にも上り、30名ほどの利用者から喜ばれています。

点訳活動は、水沢区南町にある市総合福祉センターの一室で、毎週火曜日の昼と水曜日の夜に実施しています。現在の会員は22名。家事や仕事の合い間などの都合の良い時間を利用して活動しています。点訳は、市社会福祉協議会から依頼される「デイサービス計画表」「カラオケ歌詞」などのほか、会員が選んだり、利用者個人から依頼されたりする本や家電製品の説明書など多岐にわたります。点字本を借りた利用者に「この間の本は面白かったよ」と声を掛けられ、また借りてもらうことが会員の励みにつながっています。

点訳の方法は、点字器と点筆を使って作成する「手打ち」と、パソコン専用ソフトで文字を入力する「パソコン点訳」の２つ。工房では主に「パソコン点訳」によって作成しています。その工程は、まずパソコンでの入力作業を行い、次に校正、最後に専用の点字プリンターで印刷し、ファイルにとじて点字本の完成。１冊の本は点字本にすると２冊から６冊にもなり、おおむね２、３カ月の期間が掛かります。

パソコン点訳する上で問題となるのは、専用の点字プリンターでの印刷。点字プリンターは高額で、一度故障すると修理が難しく、作業が完全に止まってしまいます。

このような厳しい作業状況でも、懸命に点訳に励んでいる同工房。利用者の皆さんが必要としている情報を提供し、より満足してもらえるよう点訳活動を続けています。

■点訳Ｅｙｅ工房（古藤☎０９０－２２７７－１３８７）

点訳を行っている会員の皆さん

点訳の大事な仕事であるパソコンでの入力作業

interview

点訳Ｅｙｅ工房
会長
古藤　博子さん（60）

視覚に障がいのある皆さんに喜ばれるような活動を目指しています。点訳は、地名や人名などの下調べに苦労することもありますが、出来上がったときの達成感や利用者の皆さんの感謝の言葉にやりがいを感じます。これからも、利用者の皆さんの要望に応えながら、迅速に、誤りの無い情報を提供できるよう活動を続けたいですね。

点訳Ｅｙｅ工房の点字本を借りている
中嶋（なかしま）　正巳（まさみ）さん（70）

同工房で作成された点字本を毎週のように借りています。音声訳も助かりますが、何度も確認できて記憶に残りやすい点字本は、非常に役立ちます。同工房は点訳だけでなく、点字図書館としての役割も果たしていて、とても助かっています。

もっと多くの本を読みたいので、今後も利用していきたいです。

ＮＰＯとは…市民公益活動団体のこと。ＮＰＯ法人やボランティア団体など「公益的な活動を、自発的に継続して行う民間非営利組織」の総称です

NPO伝言板

市内のＮＰＯ活動をお知らせします。
情報の掲載を希望する場合は、市民活動支援センター（☎FAX㉒4200）までお問い合わせください。

●My Port in　おうしゅう

日時：毎月第３水午前10時～午後３時
場所：市民活動支援センター
内容：就業に悩む若者のための座談会です。働くことへの悩みや不安などについて気軽に話し合いませんか
対象：15歳からおおむね40歳で、現在休学中または就業していない人
問い合わせ：市民活動支援センター（☎FAX㉒4200）

●ユース・スキルアップセミナー

日時：２月29日水～３月７日水午前10時～午後３時半（全６日間、土日除く）
場所：市民活動支援センター
内容：自立や働く事に悩みを持つ若者のためのサポートプログラムです。コミュニケーション講座やボランティア活動、職場見学などを実施します
定員：５人
申込期限：２月24日金
問い合わせ・申込先：もりおか・いわて若者サポートステーション（☎0197-625-8460、FAX 0197-625-8461）

●キッズニットクラブ

日時：毎週火午後５時半～７時
場所：市民活動支援センター
内容：主に小学生対象とした、手編み体験教室です。お友だちを誘ってご参加ください
その他：申し込み不要
問い合わせ：キッズニットクラブ（沼田☎㉒7568）